

# 阿波市立八幡小学校

## 1 学校の概要

① 児童数 110名

② 校訓，めざす児童像

『力 いっぱい』

○やさしい子

○わかるまで考える子

○たくましい子

③ 環境目標・テーマ

～学校でエコプロジェクトに取り組み，地域に広げ，自然を愛し，郷土を愛する子どもを育てよう～

1 「節電」「ゴミの分別」「リサイクル」に取り組み，行動できる子どもの育成

2 地域と共に，校区の環境美化に取り組み，「ゴミを捨てない」を実践する学校

3 地域に出向いて，校区の環境保全を通して，環境教育に取り組む学校づくり



## 2 行動方針

### 3 行動

① 節電・資源回収を呼びかける（集会や掲示）



② リサイクル活動と資源ゴミ収集



プルトップをたくさん集めたのですが，リサイクル業者さんへはまだ・・・。紙は，わずかなお金になり，清掃用品等を買えました。

③ 環境保全に絵を描いたのを，地域の団体が掲示してくれた。



地域の川のゴミ調べを4年生がした

地域の環境保全組合の人が看板を設置してくれた（5年生）

④ 全校でのゴミ0作戦実施



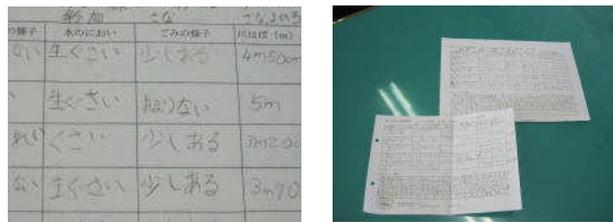
縦割り班での活動で、異学年の子とのつながりが強くなる

⑤ 川の水質検査を継続して行う



班での活動で、一人一人が役割分担できて、川のきれいさを実感できた

⑥ 地域に出向いて、環境調査の結果をまとめる



4 具体的効果

- ◆ 家庭や地域社会とかかわった活動ができて、自分の生活を見直す機会になった。継続した取り組みが、毎年、4年生の活動として定着していることで、子どもたちの意欲・関心が継続されてるといえる。
- ◆ ゴミの分別や使用済みの紙・ペットボトルといった特定のものに対しては、リサイクルに関する意識は高くなったようである。

5 改善点

- ◆ 活動の中心は、全校で取り組んでいると言うより、ボランティア委員会や4年生が中心となっていて、普段の地道な取り組みが続けられるよう、教職員も一緒に取り組みたい。
- ◆ これまで取り組んできた「学校版環境ISO」をもとに、新しい計画や意識で取り組みを始めたが、リサイクルや環境の取り組みに意欲が持てる対応になっていないので、記録・反省への取り組みを進めるようにしたい。
- ◆ 学校内での子どもたちの取り組みや活動について、地域社会や地域で活動をしている方々からも良い評価をいただいている。子どもたちの活動が、自分たちの生活を見直すだけでなく、家庭や地域への広がりがあることを分からせることで、これからの活動の励みとしたい。